

1 練馬区の実態調査

不登校の児童生徒が全国的に増加傾向にあり、令和元年度以降の5年間で、約1.9倍に増加しました。こうした状況を受け、練馬区教育委員会では、令和3・4年度に、不登校を経験した区立中学校の卒業生とその保護者などを対象にアンケートやインタビューを行う練馬区不登校に関する実態調査（以下「練馬区不登校実態調査」という。）を実施しました。この結果を踏まえ、令和5年度には、「練馬区教育委員会 不登校対策方針」を改定し、誰一人取り残されない学びの保障に向けた取組を行っています。

令和6年度に学校外で学習支援や相談支援などを行う教室「フリーマインド・トライ」を石神井台に新たに開設し、令和7年度から、学校内で学級以外に安心して過ごせる居場所となる「校内別室」に支援員の配置を行うなど、支援体制を拡充しています。また、ICTを活用した支援にも取り組んでいます。

このほか、練馬区教育委員会では、お子さんへの支援とともに、保護者が抱える不安に寄り添った支援の充実を掲げて、保護者支援の取組を進めています。

このハンドブックは、不登校のお子さんを支えるために、保護者の皆さまが相談できる場所や学習支援の情報を知っていただくことで必要な相談や支援につながるように作成しました。お子さんと保護者の皆さまに活用いただければ幸いです。

目次

1	練馬区の実態調査	1
2	不登校をどう理解し、どう受け止めるか	2
3	お子さんを支えるための視点	4
4	気づいてあげたい、お子さんの小さなサイン	6
5	その不安、ひとりで抱えなくて大丈夫です	7
6	安心して相談できる場所があります — 不登校の支援体制	8
7	本ガイドブックの監修者からのメッセージ	20